

水泳部顧問の先生方、1年間よろしく申し上げます。
初めて水泳部の顧問（担当）となられた方に、県中体連大会を中心に説明をします。
さらに不明な点や地区大会に関することは、地区の運営委員にお尋ね下さい。

1. 大会

群馬県中学校春季選抜水泳競技大会（春季選抜大会）・・・基準を突破した選手が参加
群馬県中学校総合体育大会水泳競技大会（県総体）・・・**地区大会上位入賞者 又は
基準を突破した選手が参加**
群馬県中学校新人水泳競技大会（県新人大会）・・・
関東中学校水泳競技大会（関東大会）・・・県総体での全国出場者をのぞいた上位入賞者が参加
全国中学校水泳競技大会（全国大会）・・・出場基準突破者が参加

2. 大会への参加手続き

日本水泳連盟競技者登録システム Web-SWMSYS（ウェブスミス）で大会申込を行います。
インターネットで選手登録、大会の申込・書類の作成を行います。
マニュアルはHPにあります。
「県総体」「県新人」は必ず地区大会の記録でエントリーしてください。
プロ編会議に参加して下さい。申込の確認と大会の打合せや連絡などがあります。
選手が参加する大会には、顧問は競技役員として参加します。生徒引率・指導と同時に行います。
（競技役員資格に興味のある方は、運営委員にご連絡ください。）
関東・全国大会に引率される先生方は、選手が好記録を出せるように選手の生活指導をお願いします。

3. 問い合わせについて

県大会に関する情報を中体連水泳専門部のHPに掲載しています。
HP（ <http://guntyusui.gunma-swim.org> ）を参照して下さい。
要項、大会についての連絡、競技結果、留意事項など中体連水泳に関する情報はほぼ確認できます。
その他、不明な点については、地区の運営委員にお問い合わせ下さい。
県委員長への問い合わせは、生活に支障が出ていますので避けてください。

4. 年度初めの連絡

年度はじめに「団体更新登録」「選手の年度更新登録」「新入生の登録」が必要です。
ウェブスミスの使い方が分からない方は地区の運営委員に確認して下さい。（HPにマニュアルあり）
春季選抜大会が今年度のはじめの中体連県大会です。
予選はありません。出場基準記録があります。
各校のこのHPにある大会要項（各校にも県大会要項集があります）を確認して下さい。
期日までにウェブスミス上で大会申込を行って下さい。
以上について、地区の運営委員の先生に確認して準備を進めて下さい。

5. その他

- 公認大会である県大会に出場する場合、日本水泳連盟の「公式競技会及び公認競技会における個人情報及び肖像権に関する取扱いについて」に承諾いただいたものとし、部員の全家庭に配布説明をしてください。
- 新入生がスイミングスクールで選手登録してある場合には、その選手登録番号で中学校にも登録して下さい。スイミングから連絡のない生徒も登録番号を持っている場合があります。念のため「過去に日本水泳連盟に登録したことがある競技者の場合」の登録ボタンを押して下さい。
- 県大会での撮影許可は、職印を押した撮影許可申請を提出して借りることができます。その場で顧問や保護者が書いただけのものは認められないので、事前に顧問の先生が準備をして保護者に渡して下さい。盗撮等を避けるため、ご協力をお願いします。
- 群馬県水泳連盟のHPが公開されています。部員・保護者に紹介して下さい。

<http://gunma-swim.org> 大会要項や競技会情報が掲載されます。

次ページ「はじめて県大会出場する選手の皆さんへ」は、必要に応じて、印刷して説明資料として下さい。

はじめて県大会に出場する選手の皆さんへ

競技会の流れを知って落ち着いて参加し、力を発揮できるようにしてください。

【会場】県中体連大会では、応援席は地区ごとに割り振られています。場所を確認して下さい。
更衣室は着替えだけで、荷物を置いてはいけません。荷物は応援席か指定の荷物置き場に置きます。
競技開始後は、審判長、通告がある本部前に立ち入ったり、横切ったりはできません。

【プログラムの確認】

- (1) 会場に入ったらプログラムを確認し、自分が正しくプログラムに載っているかを確認します。
出場種目、氏名の文字、学年、学校名が正しいかを確認します。
- (2) 間違いがあったら、顧問の先生を通して大会本部に相談します。

【アップ・ダウン】

- (1) 朝のアップの時間には、しっかりアップします。
- (2) 朝のアップ中、泳ぐコースとスタート練習のコース(ダッシュコース)は分かれていますので、それを守ってアップします。放送の指示を聞きましょう。実際のレースの時のスターターがピストルを打ってくれる公式スタート練習でスタート練習をしておきます。
- (3) レース前後に必要なアップダウンをします。ダウンコースへの通り道を守りましょう。

【招集】

- (1) レースに参加するために、選手はそのレースの前、決まった時間に招集所に集まります。
招集に間に合わない失格となることもあります。来ていることが伝わるように、呼ばれたらしっかり返事しましょう。どれくらい前に集まるかは開会式か顧問の先生に確認します。
招集に集まったら、そこからはなれず、並んで順番を待って、レースに臨みます。
- (2) リレーオーダー用紙を決められた時刻までに招集所に提出します。(用紙は顧問の先生にもらう)
リレーオーダーは、泳ぐ順に書きます。メドレーリレーは「背」「平」「バタ」「自」の順
- (3) 棄権する場合には、棄権届けを招集所に提出します。(用紙は招集所に用意されている)
- (4) リレーオーダーも棄権届けも顧問の先生にサインをもらいます

【スタートの手順】

- 【審判長の短い笛】 4回鳴る。選手は立ち上がる。ゴーグルはこのときにははしている。
- 【審判長の長い笛】 スタート台に上がり、スタート台の端に、足の指をかける。
構えてしまっている。少なくともすばやく構えられるようにする。
背泳ぎでは、プールに足から入る。
(背泳ぎではもう一度の【審判長の長い笛】で
棒をつかみプールの壁に足をかけ、構えられるようにする。)
- 【「用意」のかけ声】 すばやく構え、制止する。ゴーグルや顔を触ることはもちろん、体がぶれてもいけない。初心者は止まっているつもりでも止まれていることが多い。
- 【出 発 音】 スタート音とともに、飛び込む。

【ゴール後】

- (1) 「オーバーザトップ」で進行している場合には、プールの中で次のスタートを待ちます。
そうでない場合、速やかにプールから上がります。上がらないと次のレースができません。
- (2) プールから上がった後、すぐに退場します。ダウンしましょう。
- (3) 記録は掲示板に発表されます。入賞者は、すぐに賞状を運営室に取りにいきましょう。

応援者のマナー

スタートの時には、選手が集中できるように、スタート音がしっかり聞こえるように、応援者は静粛にしなければなりません。

審判長の笛が鳴ったら、選手がスタートするまで 応援者は静粛に

お互いに気持ちのいい応援をして、力を発揮しましょう。